

丹波篠山市立今田中学校 学習や生活に関する学力向上プラン(3年生)

丹波篠山市学力・学習状況調査及び全国学力・学習状況調査は、各教育委員会や各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導や生活指導の改善等に役立てることを目的として実施しています。

本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であることや、学校における教育活動の一側面に過ぎないことなどを踏まえつつ、結果をもとに授業改善等を行うため、「学習や生活に関する学力向上プラン」を作成しました。本校では、今回のプランに基づいて、お子様一人一人の学習のあり方や生活習慣について、指導や支援の方法を検証し、取り組みを充実していきます。

ご家庭におかれましても、学力の定着状況をご理解いただき、子どもたちの学習や生活習慣の改善、学校の教育活動に対して、ご支援いただきますようお願いいたします。

国語科
【結果の概要】 全体的に、全国・県の平均より上回っており、大変良好な結果でした。特に、記述式の問いや「書くこと」に対する問いの正答率が高くなりました。昨年度、やや苦手としていた「読むこと」の問いに対しても伸びが見られました。
【今後の方策】 「解答時間が足りなかった」と回答している生徒がいましたので、限られた時間の中で、自分の意見を書いたり述べたり、要旨をつかむような学習を行っていきます。また、言語に対する知識・理解については、昨年度からの伸びが小さかったので、引き続き基礎学力の定着にも力を入れて取り組みます。
数学科
【結果の概要】 「図形」と「関数」「データの活用」の領域については、全国の平均と同程度、またはそれを上回っており良好な結果でした。ただ、「数と式」の領域において、全国・県の平均より下回っており、素数の基本的な概念を正しく理解できていないことや文字式を使って整数の性質を説明できていないなどに課題が見られました。
【今後の方策】 「数と式」や課題が見られた内容について、授業の中で基礎概念について学習する時間を確保して復習を行います。また、時間が経過すると忘れてしまうことがあるので、学習したことを繰り返す習慣を身につけるような指導を行っていきます。
理科
【結果の概要】 「エネルギー」「粒子」「地球」の領域においては、全国・県の平均と同程度またはそれを上回っており良好な結果でした。しかし、それぞれの領域において、考察を裏づける実験の発想や、条件の意味を課題として表現する力、疑問を解決するための課題を考える力については、課題が見られました。
【今後の方策】 自分の考えを根拠とともに表現する活動を継続していきます。さらに力を伸ばしていくために、「予想 → 実験 → 結果 → 考察 → 課題」の流れを意識でき、条件を変えた比較実験や疑問を課題化する活動を積極的に授業に取り入れていきます。
生活状況調査
【結果の概要】 全ての項目で、全国平均を上回る結果となりました。特に「社会参画」、「学級の絆」、「学習意欲」が高く、自分たちでクラスをつくっていく意識や社会とのつながりの意識が昨年度より高くなっていました。全体の中では、「成功体験と自信」と「学習習慣」の項目が他より低くなっていました。
【今後の方策】 「学習習慣」について、予習・復習に取り組む意欲を支えています。「成功体験と自信」については、生徒の意見を取り入れて展開する授業や発言や質問が歓迎される学級の雰囲気づくりを行い、成功体験を増やしていきます。